

香川県金融経済概況

1. 概況

- 香川県内の景気は、供給制約の影響が和らぐもとで、緩やかに持ち直している。

すなわち、設備投資は持ち直している。個人消費は緩やかに持ち直している。住宅投資は弱めの動きとなっている。公共投資は減少している。こうした中、企業の生産は持ち直しつつある。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに改善に向かいつつある。この間、企業の業況感は、改善している。

2. 実体経済

- 最終需要の動向をみると、以下のとおり。

設備投資は、持ち直している。

12月短観における設備投資（全産業）をみると、2022年度は、前年を上回る計画となっている。

個人消費は、緩やかに持ち直している。

大型小売店の売上は、緩やかに持ち直している。

乗用車販売は、横ばい圏内の動きとなっている。

家電販売は、底堅く推移している。

主要観光地の入込客数（8～10月）は、引き続き持ち直した。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

公共投資は、減少している。

- 企業の生産は、持ち直しつつある。

化学は、振れを伴いつつも、高めの水準で推移している。汎用・生産用機械、金属製品、窯業・土石は、持ち直している。輸送機械、非鉄金属、食料品は、横ばい圏内の動きとなっている。電気機械は、弱含んでいる。

- 雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに改善に向かいつつある。
- 消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、3%程度のプラスとなっている。

3. 金融

- 民間金融機関の貸出（10月）は、前月に比べ前年比プラス幅が縮小した。

貸出約定平均金利（10月）は、前月比低下した。

- 預金（10月）は、前月に比べ前年比プラス幅が幾分縮小した。
- 倒産および信用保証協会の代位弁済は、低水準となっている。

以 上